

日本写真測量学会令和2年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：

令和2年11月5日(木) 13時00分～16時30分 学術講演会 参加費： 会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円 (会員・非会員共) (いずれも論文集代含む)
16時40分～17時40分 特別講演 「3次元計測を基盤とする異分野コラボレーション」 溝口 知広 氏 (日本大学工学部 情報工学科)
11月6日(金) 9時30分～15時10分 学術講演会

開催場所：

郡山中央公民館・勤労青少年ホーム
〒963-8876 福島県郡山市麓山一丁目8-4

第1日目 11月5日(木)

13:00 - 13:10

開会のあいさつ

会長 近津 博文

第1会場 (2階 講義室5・6・7)	
セッションA 画像計測・画像認識	司会：中野 一也 (朝日航洋)
13:20 - 13:40 A-1	コース撮影された空中写真の自動同一範囲切り出し手法とその応用 ○笹川 啓・石塚麻奈・片山理佐子(国土地理院)・その他1名
13:40 - 14:00 A-2	カメラキャリブレーション結果の集計と内部標定要素の傾向に関する報告 ○山本紘大・津留宏介・生田目隆明(日本測量協会)
14:00 - 14:20 A-3	道路画像の深度判定高精度化に向けたパラメータ補正 ○佐藤 剛・前田紘弥・樫山武浩(東京大学)・その他1名
14:20 - 14:40 A-4	UAV写真測量における最適撮影手法の検討 ○片山理佐子・笹川 啓・関口泰徳(国土地理院)
14:40 - 15:00 A-5	End-to-End学習による疑似画像を用いた道路標識認識手法の検討 ○林 雨亭・鈴木久美子・武田浩志(国際航業)・その他1名

第2会場 (3階 講義室8・9・10)	
セッションC 地殻変動	司会：中川 雅史 (芝浦工業大学)
13:20 - 13:40 C-1	差分干渉SAR解析を用いた空港の三次元変動推定 ○日下部貴也・須崎純一(京都大学)
13:40 - 14:00 C-2	差分干渉SAR解析を用いたサンドマイニング及び噴火における経年変化 ○張本 旭・長井正彦・Amandagi W. Hastuti(山口大学)
14:00 - 14:20 C-3	干渉SAR解析による土砂災害前後の地表面変化の監視手法に関する基礎研究 ○和田里 花・長井正彦(山口大学)
14:20 - 14:40 C-4	フェーズドアレイ方式航空機SARによる試験観測報告 ○田代ゆかり・石塚麻奈・関口泰徳(国土地理院)・その他1名
14:40 - 15:00 C-5	宇宙から見た地震雲、空中電気、天体位置による地震予測 ○村井俊治(地震科学探査機構)

15:00 - 15:10

休憩

セッションB i-Construction	
15:10 - 15:30 B-1	ETC2.0プローブ情報を用いた新規開通道路抽出手法の精度向上の試み ○石塚麻奈・笹川 啓・関口泰徳(国土地理院)・その他1名
15:30 - 15:50 B-2	電子国土基本図とベクトル地図データの差分自動抽出手法の開発 ○高田悠太郎・吉高神真利子・関口泰徳(国土地理院)・その他1名
15:50 - 16:10 B-3	ダムおよび文化財を対象としたLiDAR-SLAM点群の鮮鋭化 ○中川雅史(芝浦工業大学)・安井伸顕・蔵重裕俊(計測リサーチコンサルタント)・その他2名
16:10 - 16:30 B-4	橋梁レーザ計測点群の主要部材抽出手法 ○澁谷拓世・溝口知広(日本大学)

セッションD GIS	
15:10 - 15:30 D-1	時系列人口分布の構成パターン抽出 ○天羽健太郎・布施孝志(東京大学)
15:30 - 15:50 D-2	GNSSによる見当識障害者徘徊時の早期発見手法の実証実験 ○宅美佳幸・鹿田正昭(金沢工業大学)・中本理和(ときわ病院)・その他1名
15:50 - 16:10 D-3	ポリゴン領域の水平分割に基づくポリゴン内への高速自動ラベル配置 ○坂元光輝・李 勇鶴・佐藤俊明(パスコ)

16:30 - 16:40

休憩

特別講演	
16:40 - 17:40	司会：國井 洋一 (東京農業大学)
	題目 「3次元計測を基盤とする異分野コラボレーション」
	講師 溝口 知広 氏 (日本大学工学部 情報工学科)

第2日目 11月6日(金)

第1会場 (2階 講義室5・6・7)			
セッションE レーザ		司会: 間野 耕司 (パスコ)	
9:30 - 9:50	E-1	SLAM計測点群からの屋内環境3Dモデリング ○橋本侑弥・新名恭仁・本間亮平(アジア航測)	
9:50 - 10:10	E-2	山間部での小規模な三次元地形取得における手持ちレーザスキャナの精度検証 ○榎本みな・名草一成・南口 建(国際航業)・その他2名	
10:10 - 10:30	E-3	屋内用レーザスキャナ(BLK360)を用いた計測特性に関する研究 ○鷺北昌則・鹿田正昭(金沢工業大学)	
10:30 - 10:50	E-4	手持ちレーザスキャナによる屋内空間の計測精度の評価 ○高田雅仁・高橋元気(国際航業)	
10:50 - 11:10	E-5	山間地での適切な航空レーザ計測機材・手法の選定方法の検討 ○城 朋恵・大山容一・高橋奈恵(国際航業)・その他2名	

11:10 - 11:20

休憩

セッションF MMS				司会: 武田 浩志 (国際航業)	
11:20 - 11:40	F-1	道路法面点検におけるMMS計測の有効性についての検討 ○笹原弘道・其阿彌大祐・安井嘉文 (パスコ)			
11:40 - 12:00	F-2	位相差方式レーザスキャナを搭載したMMSによる層厚検出実験における走行速度が検出精度に及ぼす影響の分析 ○藤村大輔(日本大学)・岡本直樹・白石宗一郎(朝日航洋)・その他5名			
12:00 - 12:20	F-3	MMSによる上部空間計測における計測方向が及ぼす影響に関する基礎的研究 ○笹野拓海(日本大学)・岡本直樹・白石宗一郎(朝日航洋)・その他5名			
12:20 - 12:40	F-4	MMSレーザ点群のスキャンライン正規化による道路縁自動抽出の精度評価 ○高橋元気(国際航業)・増田 宏(電気通信大学)			
12:40 - 13:00	F-5	機械学習を用いたMMS点群データから道路地物の抽出について ○蘇 しゅう・中野一也・白井正孝(朝日航洋)・その他1名			

13:00 - 14:00

昼食

セッションG 森林				司会: 遠藤 貴宏 (RESTEC)	
14:00 - 14:20	G-1	森林の水ストレス傾向を把握するための諸因子の統合 ○森山雅雄(長崎大学)・多炭雅博(宮崎大学)・木村玲二(鳥取大学)			
14:20 - 14:40	G-2	林野火災属性情報の提案 ○三浦高史・森山雅雄(長崎大学)			
14:40 - 15:00	G-3	衛星画像における樹冠による影の三次元点群を用いた補正 ○松岡真如(高知大学)・守屋 均(香川大学)・吉岡博貴(愛知県立大学)			

15:00 - 15:10

閉会のあいさつ

第2会場 (3階 講義室8・9・10)			
セッションH 植生		司会: 藺部 礼 (静岡大学)	
9:30 - 9:50	H-1	複数の衛星プロダクトを用いたケニア・ビタ地区のトウモロコシ生育状況把握 ○中村 勇斗・皆川 昇・森山 雅雄(長崎大学)	
9:50 - 10:10	H-2	環境保全型農業による稲の収量における雑草バイオマスの影響評価手法に関する研究 ○佐藤響平・後藤真太郎(立正大学)	
10:10 - 10:30	H-3	深層学習による樹皮と葉の詳細形状評価による広葉樹の樹種分類 ○江澤一熙・溝口知広(日本大学)	
10:30 - 10:50	H-4	現地観測データに基づく種々のセンサ・植生指標によるフェノロジー観測の比較とその検討 ○菊島未来・奈佐原頭郎(筑波大学)	
10:50 - 11:10	H-5	ランドサット長期観測データを用いた油桐子プランテーションのモニタリング体系の構築 ○富田淳志(Land IQ)	

セッションI 海洋・河川				司会: 山本 彩 (RESTEC)	
11:20 - 11:40	I-1	水産分野でのALB測定の活用事例 ○園田晋平・藤田温斗・畠 周平(アジア航測)・その他3名			
11:40 - 12:00	I-2	航空レーザ測深(ALB)のグリーンレーザによる陸域データ補完の検討 ○岸本奈都子・大山容一・城 朋恵(国際航業)・その他2名			
12:00 - 12:20	I-3	三次元形状復元における二媒質写真測量の適用に関する基礎的検討 ○中野一也(朝日航洋)			
12:20 - 12:40	I-4	浅水底のUAV写真測量で水深が浅く見える倍率の水深・波依存性に関する検討 ○油谷大樹(山口大学)・神野有生(JAXA)			
12:40 - 13:00	I-5	オフセットフィルタリングによる土砂堆積などの抽出試行 ○棚野 博・牧 澄枝・塚本峻一(アジア航測)			

セッションJ 農業				司会: 中西 芳彦 (国際航業)	
14:00 - 14:20	J-1	連続体除去を用いた分光反射特性による被覆茶のクロロフィル含量推定 ○藺部 礼(静岡大学)・廣野祐平・大井彩子(農研機構)			
14:20 - 14:40	J-2	多年度水稲観測データの分析による年次別生育特性把握に関する基礎的検討 ○坂田健太・カ丸 厚(長岡技術科学大学)・安永佳生(エコロジーサイエンス)・その他2名			
14:40 - 15:00	J-3	Sentinel1による北朝鮮の水田の季節変化 ○中園悦子・竹内 渉(東京大学)			